

部族民通信

YOUTUBE

神話学 4

3

人類学

講座

生と調理

2023年10月~24年7月期

部族民通信 人類学講座 レ  
ヴィストロースを読む

神話学 Mythologique

SNS活動

ホームページ [WWW.tribesman.net](http://WWW.tribesman.net)  
ブログ <https://blog.goo.ne.jp/tribesman>  
XTwitter部族民通信@9pccwVtW6e3J3AF



Claude Lévi-Strauss  
1909~2009  
(Bororo族調査時、1936年)

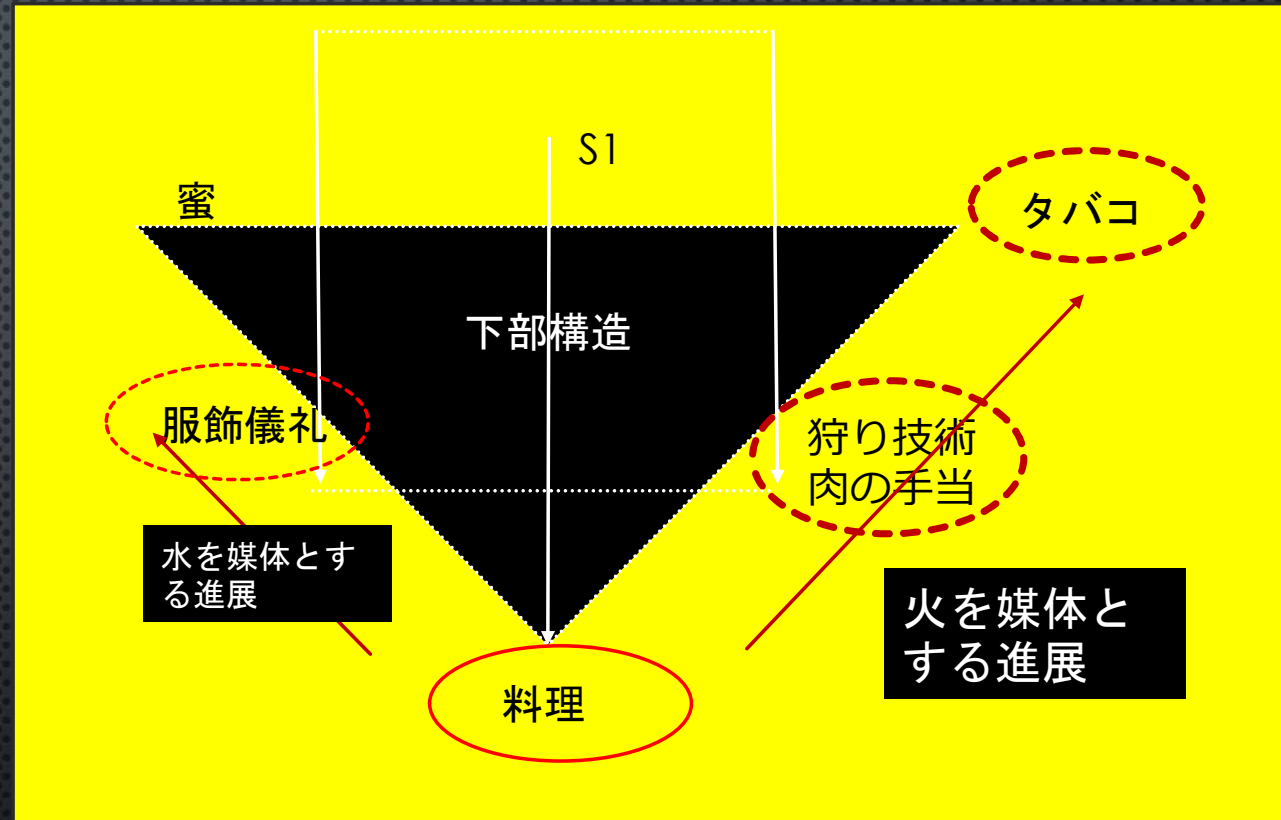


Mythologique  
神話学4 生と  
調理 3

神話 : 2重三角の  
下部

1 前回 (生と調理2)  
料理 (火の創造) から  
火の目的である肉 (野  
豚) の創造に進んだ

2 今回 (同3) タバコ  
の創造



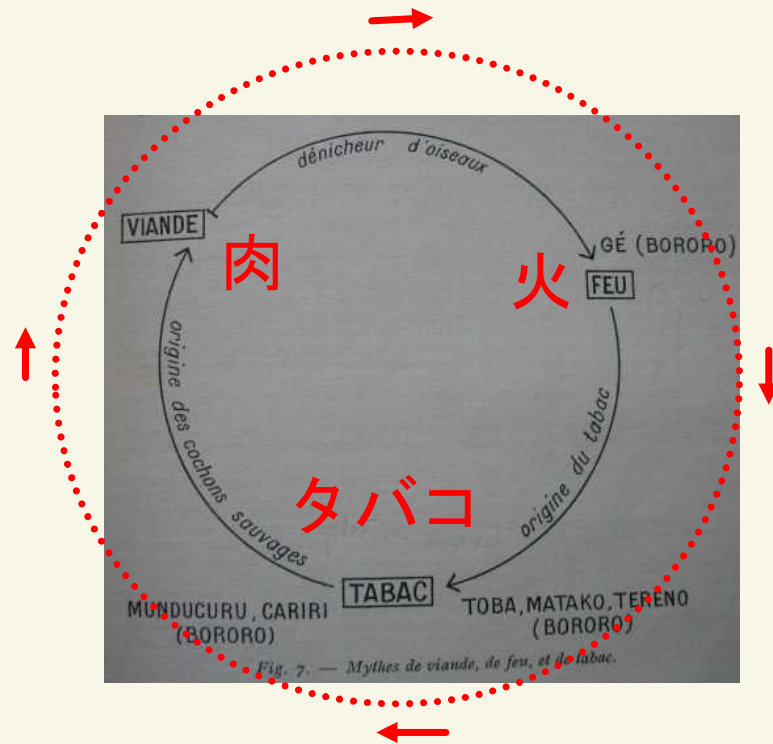
野豚からタバコへ

直線 対極

Vs

円鎖 循環

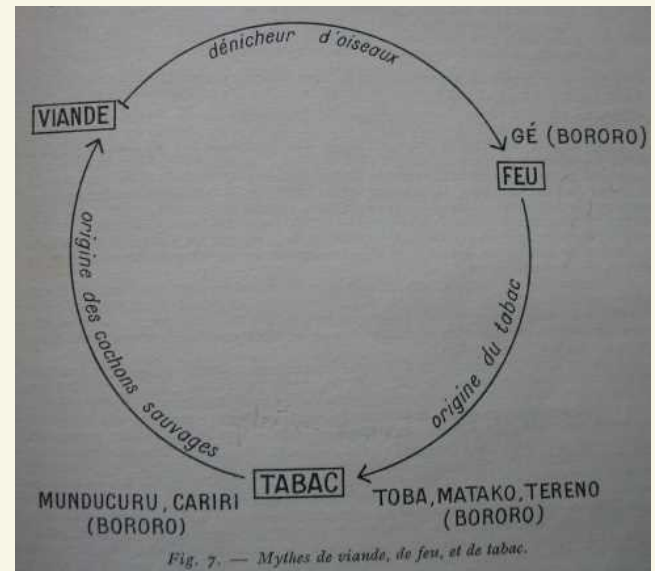
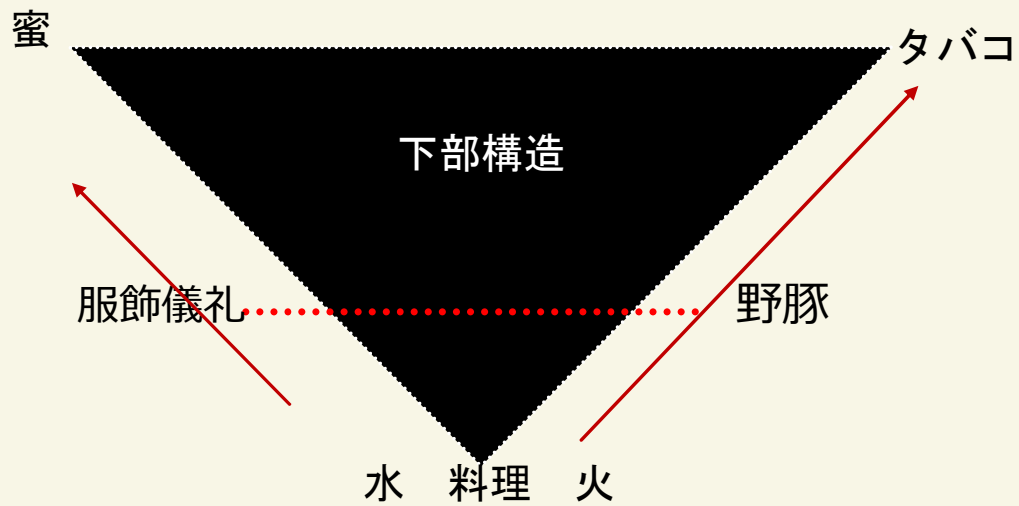
神話学 生と調理 タバコの創造



本書115頁挿図

赤字赤円は  
部族民追加

神話学 生と調理 タバコの創造



本書115頁挿図

人の思想と森羅の生態が、対比されている

神話学第2巻「蜜から灰へ」で動物界の王、樹生カエルが、森で夜を過ごす狩人に動物界の実相を見せた。ネズミモグラなど小さい動物から、アルマジロなどの中型、殿にジャガー、バク大型動物が行進する

それぞれの属で小さい種から大きな種につながる。自然とは、かく連続していると自然の秘密が披露された

王のカエル曰く「連続、循環だ。汝らヒトは物事を対極させるが、危険な思考だ」諫めた

狩りを許そう、しかし「動物界の連続を犯してはならぬ」と申し付けた

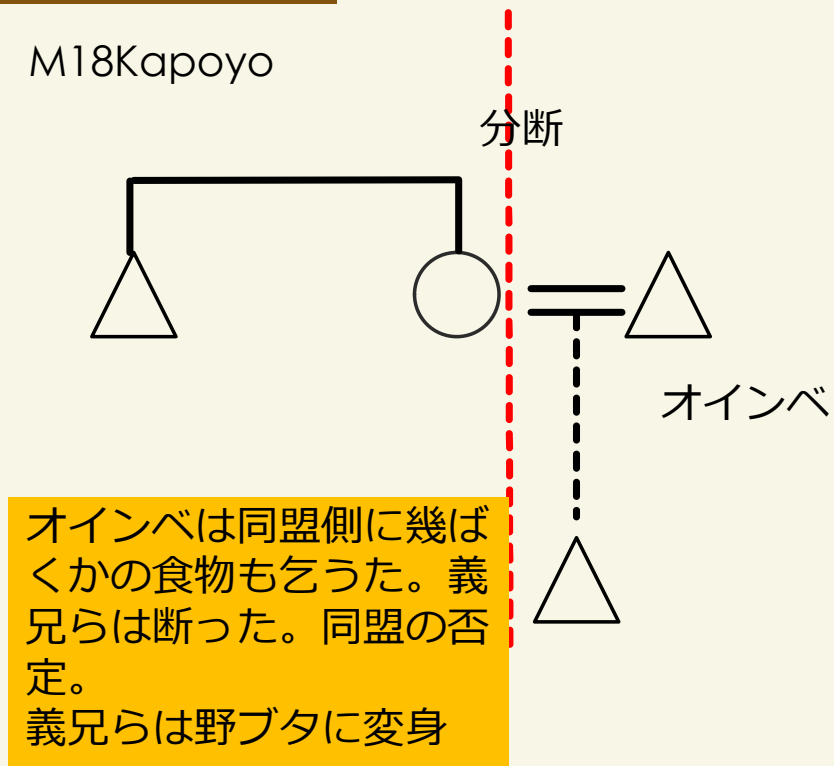
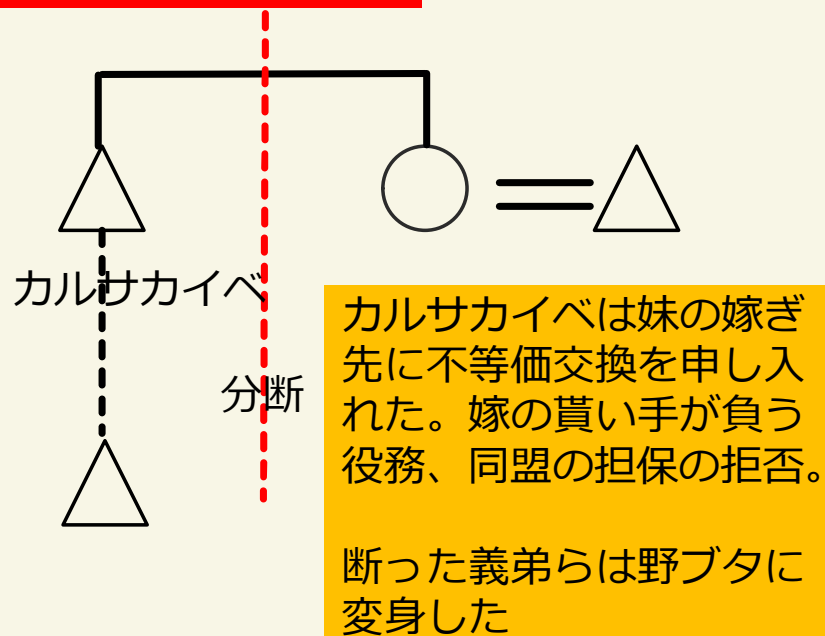
自然が対極であると「ネズミとジャガー」の組み合わせとなる。ジャガーがネズミを食い尽くし、両種とも生存できない

火を媒体とする進展  
タバコの取得  
同盟と系統、相克

# 前回スライド 参考

## 前回（生と調理2、野ブタ の創造）の概略

M18Kapoyo



参考

前回投稿の主旨

同盟を分断する族民

豚に変身する

タバコ  
同盟を否定する者には  
懲罰の死、その灰から  
タバコ

M23 タバコの起源 Toba-Pilaga族 (107頁)

« Une femme et son mari allèrent un jour à la recherche de perruches. L'homme grimpa dans un arbre où se trouvait plusieurs nids, et il lança à sa femme une trentaine d'oisillons. Il s'aperçut que la femme les dévorait. Pris de peur, il saisit un oiseau plus grand et lança en disant « attention, c'est un jeune, mais il peut voler ! » La femme courut après l'oiseau et l'homme en profita pour descendre et s'enfuir »

嫁と夫、二人してインコ巣探しに出た。程なく、夫はインコ巣がより集まる木を探しさてよじ登った。30羽ほどの雛を妻に投げ下ろしたが、妻はそれらを貪り食べた。恐れに駆られ夫は若鳥をつかみ妻に「こいつは飛べるから追っかけて」と投げ下ろし、妻が鳥を追いかける間合いを狙い。木から下り一目散で逃げた。

結局、妻に追いかけられ、夫は食べられる。

« A peine de retour au village, la femme a soif. Avant d'aller à la source qui est un peu éloignée, elle défend à ses cinq enfants de toucher au sac. Mais le plus jeune s'empresse de regarder, il alerte les autres »

妻は夫の頭を籠に入れ帰る。家に着くや喉の乾きで泉に向かうが、籠を触ってはならぬと申し付けた。末子が開けて中身見て驚いた。兄4人に告げた。

## 神話学 生と調理 タバコの創造

村中大騒ぎになって、皆逃げてしまった。

戻った母は子になぜ村から人が消えたか、尋ねた。子の答えは「彼らは僕たちを辱めた、その恥に気づいて逃げ出した」と事実を隠した。母は村人を追いかけて貪る。血まみれの姿に怖れる子に

« Ne bougez pas, dit la mère, ou je vous mange » どこにも行くな、さもなくば食べてしまうと母が脅す。

« Les enfants creusent secrètement une fosse qu'ils recouvrent de feuillage. Ils prennent la fuite quand leur mère annonce que leur tour est venu d'être mangés. Elle se lance à leurs poursuite et tombe dans le piège. Les enfant vont demander secours a Carancho (le héros culturel) »

子らは密かに落とし穴を掘って葉で隠した。お前たちを食べる番が来たとお母は告げた、皆は逃げて母は追う、母は（動物なので）落とし穴に填まって子らは逃げお失せた。

Carancho（善の俗神）に助けを求めた。Caranchoの策略で人食い母は殺された。

遺骸を焼いた灰からタバコが生えた。

神話学 生と調理 タバコの創造



善の俗神 Carancho ハヤブサ  
科の猛禽 写真はネット採取

## 神話学 生と調理 タバコの創造

M22Matako族神話 : 夫婦で漁に出る、夫がインコの巣を見つけ木に登り雛を落とすが妻が食べてしまう。木から下りた夫も食べる。妻が家に戻ると子が漁果を見むと駆け寄り、母は夫の首を掲げる「アルマジロの首だよ」と。その晩、子らを貪って森に消えた。

M24Teneno族神話 : 妻は魔女、月経血で汚した食物を夫に食べさせる。夫は蜜狩りにでて純粹蜜は子に取り置き、妻には毒蛇の仔（胎生蛇の幼生）を浸けた蜜を与えた。妻は体中に浮腫が出て「お前を食べてやる」と夫に凄む。夫は逃げる、木によじ登って巣の雛を3羽を投げ、その度に妻は食らう。最後の雛は飛び逃げる、妻は追い、そのスキに夫は逃げる。路に落とし穴を掘り妻は引っかかり、落ちて死ぬ。その落とし穴からタバコが生えてきた。

M26ボロロ族 : 狩りの帰りに村に近づいた。口笛の合図で妻を呼び寄せる。最後の行程は妻が獲物を担ぐーがしきたり。その日の獲物は大蛇、滴る血が体を抜け、妻を孕ませた。

蛇の仔は子宮の中から母に問いかける。「果実の採取を手伝うよ、木登り上手いから」蛇は子宮から抜け一仕事してまた子宮に戻る。妻は恐ろしくなり兄弟に相談する。

抜け出た蛇が母に戻る寸前に、兄が捕まえ殺した。死骸は焼かれ灰からタバコが生まれた。

## 4の神話に共通する要素 (Code)

女側に反文化が宿る (ジャガー、魔女、蛇の子)

反文化行動 : 月経血、人を生食い、  
同盟の破壊 (夫を殺す)、蛇を遣って  
食物採取

反文化者の死でタバコが生まれる

4の神話にはM1（火と水の創造、文化の揺籃）と似通う筋立て（Codage）が認められる（レヴィストロースの指摘）。

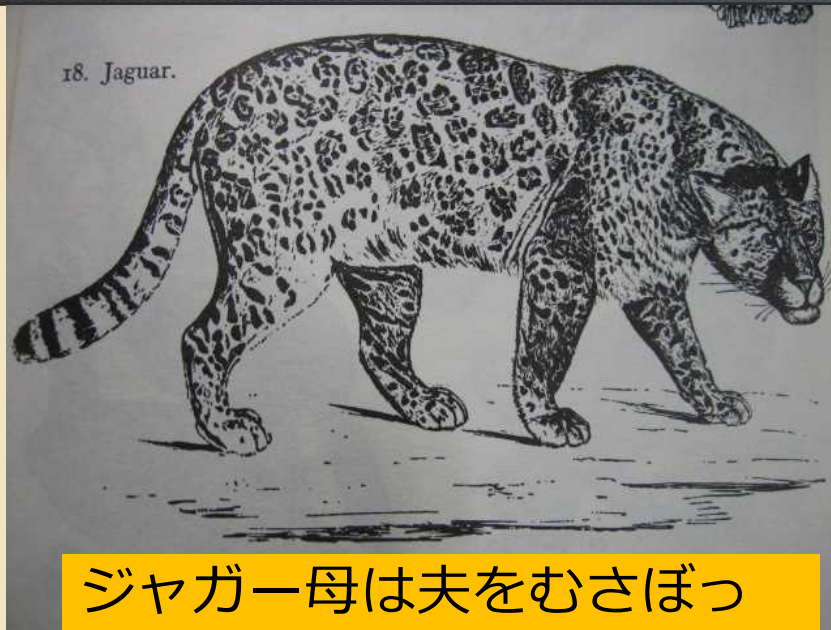
それは：

鳥の巣荒らし

系統への執着（上下婚）

同盟への嫌悪（父への忌避、殺す）

破壊から創造（英雄は一旦死ぬ）



ジャガー母は夫をむさぼった



子に父の生首を捧げ、これはアルマジロの頭だと言いはった

画は本書から

筋立ての逆転も認められると指摘。争いはM1で父と子、M23では夫と妻。M1父は破滅しM23では妻が死ぬ。類似相違の各論に入らない、大筋で「同盟の破壊、系統への執着」すなわち「自然回帰」。これを打破する文化が主題  
自然逆戻りの破滅（ジャガー妻の死）がタバコの創造に至る。  
アンチテーゼが差し止められ文化創造に向かう筋道はM1とM23で類似する。

レヴィストロースは「親族の基本構造、1947年初版」で

文化の発生とは婚姻制度の確立にその濫觴を訊ねると予告した

婚姻制度とは系統と同盟の峻別にほかならない

火を巡る文化の進展に、この峻別を忌避し系統への執着を見せる、反文化の動きが絡んだ

S1（火と水）、S2（野豚）、S3  
（タバコ）は同じ思想の神話群

メロディーは文化の成り立ち、  
自然文化の葛藤が通奏低音に響く



Mythologique  
神話学4 生と  
調理 3 了

部族民通信

YOUTUBE

神話学 4

3 了

人類学

講座

生と調理

2023年10月~24年7月期